



## 2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年11月10日

上場会社名 株式会社シユーシー 上場取引所 東

コード番号 9158 URL <http://www.cuc-jpn.com/>

代表者 （役職名）代表取締役 （氏名）濱口 慶太

問合せ先責任者 （役職名）執行役員 経営企画本部長 （氏名）大橋 悠介 TEL 03(5005)0808

半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前中間利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	26,291	21.7	1,711	△43.9	1,397	△56.1	566	△71.4	612	△69.5	348	△23.1
2025年3月期中間期	21,611	40.8	3,047	71.3	3,180	89.3	1,981	92.4	2,009	93.3	452	△54.3

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
2026年3月期中間期	円 銭 20.89	円 銭 20.89
2025年3月期中間期	68.51	68.51

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
2026年3月期中間期	百万円 94,140	百万円 30,723	百万円 30,161	% 32.0
2025年3月期	85,167	30,286	29,678	34.8

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	58,250	23.8	5,500	2.9	5,000	△4.7	2,880	△6.4	2,880	△8.0

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① I F R Sにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	29,990,400株	2025年3月期	29,990,400株
2026年3月期中間期	675,091株	2025年3月期	675,091株
2026年3月期中間期	29,315,309株	2025年3月期中間期	29,315,338株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約中間連結財政状態計算書	5
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書	7
(3) 要約中間連結持分変動計算書	9
(4) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループのミッション（使命）は「医療という希望を創る。」です。このミッションに基づき、当社グループは、患者に向けては「患者視点の医療をひとりでも多くの方へ提供できる環境を創る。」、医療機関に向けては「地域に求められ、働きがいのある職場環境を創る。」、そして社会に向けては「医療課題の解決によって健全で持続可能な社会を創る。」ことを目指して様々なサービスを展開しています。

医療機関セグメントでは、国内においては病院、訪問診療クリニック、透析クリニック、外来クリニック等を運営する医療機関に対して経営支援サービス（経営戦略策定・経営管理支援、マーケティング支援、IT・経理・総務等支援、人事・採用機能支援等に加えて、M&A・PMI支援、新規クリニック開設支援、病床転換支援等のプロジェクト受注）を提供し、海外においては、米国では足病及び下肢静脈疾患クリニックの運営等、東南アジアでは医療機関に対する経営支援等を行っています。

ホスピスセグメントでは、ホスピス型住宅の入居者に提供するサービスの質を最重要視した上で、既存のホスピス型住宅の入居者増加に加え、看取り機能が脆弱な地域を中心にホスピス型住宅の新規展開を加速し、より多くの医療依存度の高い（がん末期、神経難病等を患う）入居者向けに訪問看護及び訪問介護を提供しています。

居宅訪問看護セグメントでは、利用者に提供するサービスの質を最重要視した上で、既存の訪問看護ステーションの利用者拡大に加え、新規エリアへの訪問看護ステーションの新規開設を行い、居宅の利用者向けに訪問看護を提供しています。

メディカルケアレジデンスセグメントでは、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅及びリハビリ強化型デイサービスの運営や施設入居者への定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスを展開しています。今後は、既存施設の稼働率改善、介護需要が高い地域への新規開設を行いながら、より医療依存度、要介護度が高い入居者（要介護度3-4程度の方）の受け入れを推進していきます。

当中間連結会計期間の業績は、以下のとおりです。なお、「メディカルケアレジデンス」は前第3四半期連結会計期間より新たに報告セグメントとして追加したため、前年同期との比較は記載していません。

なお、EBITDAの計算式は次のとおりです。

EBITDA=営業利益+減価償却費及び償却費±その他の収益・費用

（当中間連結会計期間の業績）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	比較増減	
売上収益	21,611	26,291	+4,679	+21.7%
営業利益	3,047	1,711	△1,336	△43.9%
税引前中間利益	3,180	1,397	△1,783	△56.1%
親会社の所有者に帰属する中間利益	2,009	612	△1,396	△69.5%
EBITDA	4,169	3,713	△456	△10.9%

## (セグメントの業績)

(単位：百万円)

		前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	比較増減	
医療機関	セグメント売上 収益	8,903	8,225	△678	△7.6%
	セグメント利益	2,201	1,475	△725	△33.0%
	EBITDA	2,679	1,812	△867	△32.4%
ホスピス	セグメント売上 収益	6,705	7,936	+1,231	+18.4%
	セグメント利益 又は損失(△)	690	139	△551	△79.8%
	EBITDA	1,145	811	△334	△29.2%
居宅訪問看護	セグメント売上 収益	6,077	6,517	+440	+7.2%
	セグメント利益	540	657	+117	+21.7%
	EBITDA	776	870	+95	+12.2%
メディカルケ アレジデンス	セグメント売上 収益	—	3,797	—	—
	セグメント利益 又は損失(△)	—	△96	—	—
	EBITDA	—	681	—	—
その他	セグメント売上 収益	83	41	△42	△50.6%
	セグメント利益	55	△10	△65	—
	EBITDA	8	△7	△15	—
調整額	セグメント売上 収益	△157	△226	△69	—
	セグメント利益	△439	△454	△16	—
合計	セグメント売上 収益	21,611	26,291	+4,679	+21.7%
	セグメント利益	3,047	1,711	△1,336	△43.9%
	EBITDA	4,169	3,713	△456	△10.9%

## ① 医療機関セグメント

国内においては、支援先主要拠点数が堅調に増加した一方、一部の支援先医療機関における収益性悪化を受けて上期中の月額報酬を一時的に減額したことに加えて、前第1四半期にM&A支援報酬が集中したことの反動減もあり、売上収益が減少しました。海外においては、米国足病領域におけるロールアップ型M&Aが堅調に推移した一方、当中間連結会計期間に発生した過去の営業債権の回収による一過性の売上が剥落したことにより、売上収益は微減となりました。これらの結果、当中間連結会計期間における当セグメントの売上収益は8,225百万円(前年同期比7.6%減)、セグメント利益は1,475百万円(前年同期比33.0%減)、EBITDAは1,812百万円(前年同期比32.4%減)となりました。

## ② ホスピスセグメント

既存施設の稼働率が上昇したことに加えて、前下期以降に開設した新規施設（11施設）の貢献により、当中間連結会計期間における売上収益は7,936百万円（前年同期比18.4%増）となりました。

セグメント利益及びEBITDAについては、新規施設に係る立上げ期の初期赤字及び一部の既存施設の単価が減少したこと等によりセグメント利益は139百万円（前年同期比79.8%減）、EBITDAは811百万円（前年同期比29.2%減）となりました。

## ③ 居宅訪問看護セグメント

利用者数の増加に伴い、当中間連結会計期間の延べ総ケア時間（注）は642千時間（前年同期比5.8%増）となり、当セグメントの売上収益は6,517百万円（前年同期比7.2%増）となりました。

セグメント利益及びEBITDAについては、ステーションの新規開設に伴う初期費用が発生したもの、利用者数の増加に加えて、看護師及びセラピストの稼働率向上により、セグメント利益は657百万円（前年同期比21.7%増）、EBITDAは870百万円（前年同期比12.2%増）となりました。

(注) 当社グループの看護師及びセラピストが利用者に居宅訪問看護サービスを提供した時間の合計。セラピストは理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の総称。

## ④ メディカルアレジデンスセグメント

前第3四半期連結会計期間において、札幌市において住宅型有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅を運営する株式会社ノアコンツェルの発行済株式のすべてを取得し、連結子会社化しました。服薬支援システム「服やっくん」の販売数が堅調に拡大したことに加えて、訪問看護に係る診療報酬収入が増加した一方、ノアコンツェルが保有する3施設における、ホスピスプロア化に向けた改修に伴う入居抑制により、売上収益は3,797百万円となりました。

セグメント利益及びEBITDAについては、介護士及び看護師の採用等、稼働率及び単価向上に向けた先行投資費用が発生したことにより、セグメント損失は96百万円、EBITDAは681百万円となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における当社グループの売上収益は26,291百万円（前年同期比21.7%増）、営業利益は1,711百万円（前年同期比43.9%減）、EBITDAは3,713百万円（前年同期比10.9%減）となりました。

また、前連結会計年度に発生した米国子会社への貸付の回収に係る為替差益が360百万円剥落したこと等により、税引前中間利益は1,397百万円（前年同期比56.1%減）、親会社の所有者に帰属する中間利益は612百万円（前年同期比69.5%減）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### （資産、負債及び資本の状況）

資産合計は、前連結会計年度末比8,972百万円増の94,140百万円となりました。流動資産については、前連結会計年度末比6,741百万円増の27,261百万円となりました。これは主に国内のホスピス建設資金の補充を目的として長期借入金の借り入れを行ったことにより、現金及び現金同等物が5,791百万円増加したことによるものです。非流動資産については、前連結会計年度末比2,231百万円増の66,878百万円となりました。これは主にホスピス型住宅の増加に伴い有形固定資産が2,386百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末比8,536百万円増の63,417百万円となりました。これは主に国内のホスピス建設資金の補充を目的として長期借入金の借り入れ9,700百万円を行ったことによるものです。

資本合計は、前連結会計年度末比436百万円増の30,723百万円となりました。これは主に親会社の所有者に帰属する中間利益の計上により利益剰余金が612百万円増加したことによるものです。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想については、2025年4月28日に「2025年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）」で公表した内容から変更はありません。

## 2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び現金同等物	7,533	13,324
営業債権及びその他の債権	12,151	12,946
棚卸資産	160	182
その他の金融資産	94	116
その他の流動資産	582	693
<b>流動資産合計</b>	<b>20,520</b>	<b>27,261</b>
<b>非流動資産</b>		
有形固定資産	18,830	21,216
使用権資産	19,401	20,027
のれん	13,665	13,624
無形資産	4,306	4,141
投資不動産	4,327	3,817
繰延税金資産	893	937
その他の金融資産	3,167	3,062
その他の非流動資産	57	55
<b>非流動資産合計</b>	<b>64,647</b>	<b>66,878</b>
<b>資産合計</b>	<b>85,167</b>	<b>94,140</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債及び資本</b>		
<b>負債</b>		
<b>流動負債</b>		
営業債務及びその他の債務	4,314	3,550
借入金	2,812	3,054
リース負債	2,769	2,948
預り金	692	775
未払法人所得税	1,233	679
契約負債	3	18
その他の流動負債	1,622	2,116
流動負債合計	13,446	13,139
<b>非流動負債</b>		
借入金	20,653	28,600
リース負債	17,310	17,796
退職給付に係る負債	268	321
繰延税金負債	1,478	1,630
その他の金融負債	893	900
その他の非流動負債	833	1,030
非流動負債合計	41,435	50,278
<b>負債合計</b>	<b>54,881</b>	<b>63,417</b>
<b>資本</b>		
<b>資本金</b>	<b>7,669</b>	<b>7,669</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>7,820</b>	<b>7,820</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>13,457</b>	<b>14,069</b>
<b>自己株式</b>	<b>△0</b>	<b>△0</b>
<b>その他の資本の構成要素</b>	<b>732</b>	<b>602</b>
<b>親会社の所有者に帰属する持分合計</b>	<b>29,678</b>	<b>30,161</b>
<b>非支配持分</b>	<b>608</b>	<b>562</b>
<b>資本合計</b>	<b>30,286</b>	<b>30,723</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>85,167</b>	<b>94,140</b>

## (2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書

(要約中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上収益	21,611	26,291
売上原価	10,901	14,206
売上総利益	10,711	12,084
販売費及び一般管理費	7,737	10,698
その他の収益	84	365
その他の費用	10	41
営業利益	3,047	1,711
金融収益	361	23
金融費用	228	337
税引前中間利益	3,180	1,397
法人所得税費用	1,199	831
中間利益	1,981	566
中間利益の帰属		
親会社の所有者	2,009	612
非支配持分	△28	△46
中間利益	1,981	566
1株当たり中間利益		
基本的1株当たり中間利益（円）	68.51	20.89
希薄化後1株当たり中間利益（円）	68.51	20.89

## (要約中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間利益	1,981	566
その他の中間連結包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
公正価値で測定する金融資産の公正価値の純変動	△425	△96
純損益に振り替えられることのない項目合計	△425	△96
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1,104	△123
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△1,104	△123
税引後その他の包括利益	△1,529	△218
中間包括利益	452	348
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	560	405
非支配持分	△108	△57
中間包括利益	452	348

## (3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	在外営業活動体の換算	新株予約権	差額
2024年4月1日残高	7,669	7,761	10,307	△0	589		80
中間利益	-	-	2,009	-	-		-
その他の包括利益	-	-	-	-	△1,023		-
中間包括利益合計	-	-	2,009	-	△1,023		-
自己株式の取得	-	-	-	△0	-		-
新株予約権の発行	-	-	-	-	-	6	
株式に基づく報酬取引	-	59	-	-	-		△7
子会社設立に伴う払込	-	-	-	-	-		-
子会社の支配喪失に伴う変動	-	-	-	-	-		-
非支配持分との取引	-	△2	-	-	-		-
所有者との取引額合計	-	57	-	△0	-		△1
2024年9月30日残高	<u>7,669</u>	<u>7,819</u>	<u>12,316</u>	<u>△0</u>	<u>△435</u>		<u>80</u>
	親会社の所有者に帰属する持分						
	その他の資本の構成要素						
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	合計	合計	非支配持分	資本合計		
2024年4月1日残高	909	1,578	27,316	689	28,005		
中間利益	-	-	2,009	△28	1,981		
その他の包括利益	△425	△1,448	△1,448	△80	△1,529		
中間包括利益合計	△425	△1,448	560	△108	452		
自己株式の取得	-	-	△0	-	△0		
新株予約権の発行	-	6	6	-	6		
株式に基づく報酬取引	-	△7	52	-	52		
子会社設立に伴う払込	-	-	-	-	-		
子会社の支配喪失に伴う変動	-	-	-	-	-		
非支配持分との取引	-	-	△2	△32	△33		
所有者との取引額合計	-	△1	57	△32	25		
2024年9月30日残高	<u>484</u>	<u>129</u>	<u>27,933</u>	<u>549</u>	<u>28,482</u>		

当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位：百万円)

親会社の所有者に帰属する持分						
	その他の資本の構成要素					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	在外営業活動体の換算差額	新株予約権
					差額	
2025年4月1日残高	7,669	7,820	13,457	△0	△35	172
中間利益	—	—	612	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△112	—
中間包括利益合計	—	—	612	—	△112	—
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—
新株予約権の発行	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	—	—	—	—	78
子会社設立に伴う払込	—	—	—	—	—	—
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	—	—	—
非支配持分との取引	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	—	—	—	78
2025年9月30日残高	7,669	7,820	14,069	△0	△147	250
親会社の所有者に帰属する持分						
	その他の資本の構成要素					
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	合計	非支配持分	資本合計		
2025年4月1日残高	595	732	29,678	608	30,286	
中間利益	—	—	612	△46	566	
その他の包括利益	△96	△208	△208	△11	△218	
中間包括利益合計	△96	△208	405	△57	348	
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—
新株予約権の発行	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	78	78	—	78	
子会社設立に伴う払込	—	—	—	22	22	
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	△11	△11	
非支配持分との取引	—	—	—	—	—	
所有者との取引額合計	—	78	78	11	89	
2025年9月30日残高	499	602	30,161	562	30,723	

## (4) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、「医療機関」、「ホスピス」、「居宅訪問看護」及び「メディカルケアレジデンス」の4つを報告セグメントとしています。

「医療機関」は、国内においては経営戦略支援、経営管理支援、人事労務支援等を主な支援メニューとした医療機関に対する各種運営サポートを提供し、海外においては、米国では足病及び下肢静脈疾患クリニックの運営等、東南アジアでは医療機関に対する経営支援等を行っています。「ホスピス」は、ホスピス型住宅の入居者に訪問看護及び訪問介護サービスを提供、「居宅訪問看護」は、居宅の利用者に訪問看護サービスを提供しています。「メディカルケアレジデンス」は住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅及びリハビリ強化型デイサービスの運営や施設入居者への定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの運営を行っています。

## (2) 報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目は以下のとおりです。

なお、報告セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいています。

前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約中間 連結財務 諸表
	医療機関	ホスピス	居宅訪問 看護	メディカル ケアレジデンス	計				
売上収益									
外部収益	8,746	6,705	6,077	—	21,528	83	21,611	—	21,611
セグメント間収益	157	—	—	—	157	—	157	△157	—
合計	8,903	6,705	6,077	—	21,685	83	21,768	△157	21,611
セグメント利益又は損失 (△) (注) 3	2,201	690	540	—	3,430	55	3,486	△439	3,047
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	361
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	228
税引前中間利益	—	—	—	—	—	—	—	—	3,180
中間利益	—	—	—	—	—	—	—	—	1,981
その他の項目									
減価償却費及び償却費	479	469	244	—	1,192	4	1,196	—	1,196

(注) 1. その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調剤薬局サービス、眼科材料及び眼鏡用品の販売サービス等を含んでいます。

2. 調整額は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△439百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

3. セグメント利益は、要約中間連結損益計算書の営業利益と一致しています。

当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約中間 連結財務 諸表
	医療機関	ホスピス	居宅訪問 看護	メディカルケアレジデンス	計				
売上収益									
外部収益	8,002	7,936	6,515	3,797	26,250	41	26,291	—	26,291
セグメント間収益	223	—	3	—	226	—	226	△226	—
合計	8,225	7,936	6,517	3,797	26,475	41	26,516	△226	26,291
セグメント利益又は損失 (△) (注) 3	1,475	139	657	△96	2,175	△10	2,165	△454	1,711
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	23
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	337
税引前中間利益	—	—	—	—	—	—	—	—	1,397
中間利益	—	—	—	—	—	—	—	—	566
その他の項目									
減価償却費及び償却費	542	701	257	822	2,322	4	2,326	—	2,326

(注) 1. その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、眼科材料及び眼鏡用品の販売サービス、M&A仲介サービス等を含んでいます。

2. 調整額は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△454百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

3. セグメント利益は、要約中間連結損益計算書の営業利益と一致しています。

### (3) 報告セグメントの変更に関する情報

前中間連結会計期間における「医療機関」「ホスピス」「居宅訪問看護」の3つの報告セグメントに加え、前連結会計年度第3四半期に子会社化した株式会社ノアコンツェルを、新たに「メディカルケアレジデンス」として追加しています。